

【様式1】 平成29年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	大垣市	学校名	岐阜県立大垣桜高等学校			
校長名	渡辺美智子	対象学年	服飾デザイン科3学年	人数	120人	
活動名	<small>サクラクリエイターズマルシェ</small> Sakura Creator's Marche ~ぎふ長良川鵜飼PRの挑戦~		時間数	1年生3 2年生10 3年生25 時間	継続年数	3年
題材	1 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） [] 2 歴史（出来事・史跡・先人・その他） [] 3 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） [] ④ 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） [ぎふ長良川鵜飼に関するアイテム開発とPR活動、尾州産地とコラボレーションによるテキスタイル開発] 5 地域との積極的な関わりをつくる活動等 [] 6 その他（ ） []					
複数年継続するための工夫改善	<ul style="list-style-type: none"> ・研究の活動主体を3年生におくが、1年生で研究意義や素材に関する基礎基本の理解、2年生で研究内容の理解やファッションビジネスの基礎、3年生で素材活用の応用、ファッションビジネスの応用、商品開発や体験的实践活動を中心とした段階的研究を行う。3年生から1、2年生へ研究の経過報告を年に2回実施し、意識付けを行う。 ・科目「ファッションビジネス」2年生の授業で、商品提案、開発を行うとき、これまでの研究経緯説明や、商品開発に必要な事項を3年生の開発リーダーがアドバイザーとして入り、商品開発を促す。 ・ぎふ長良川鵜飼に関するアイテム開発について、長良川ミュージアムや長良川沿いのホテル、長良川の観光協会や長良川デパートに関する市場調査を行い、地域、観光、消費者等のニーズに合った商品開発を行う。 					

1 ねらい

服飾デザイン科で学ぶ生徒に豊かな感性と柔軟な発想力、創造力、確かな知識・技術を育成するとともに、グローバルな視野からものづくりやビジネスを取り上げ、総合的にファッションを世界に発信することができるファッションクリエイターを育成する。

2 活動の概要

「地元企業・関連機関とのコラボレーションによる商品開発」

(1) ぎふ長良川鶺鴒PRアイテム開発、PR活動

- ・岐阜県の伝統文化である鶺鴒に注目し、鶺鴒装束の目的や機能を学び、鶺鴒装束の目的や機能をデザイン化したファッション、アイテムを提案する。
- ・テーマやニーズに添ったデザインを発想する能力やデザイン展開力を養う。
- ・提案したファッション、アイテムを活用し岐阜長良川鶺鴒のPR活動を行う。

回	月 日	研究・活動内容	活動生徒
1	3月	長良川鶺鴒PRアイテム「鶺SHOW」シリーズ ネクタイ&スカーフの完成	服飾デザイン科 2・3年生
2	5/8 (月)	開発商品ブラッシュアップのためのリサーチ ・長良川鶺鴒代表杉山雅彦氏による評価 ・長良川うかいミュージアム、河原町周辺の岐阜の アンテナショップにて調査	服飾デザイン科 3年生 3人
3	5/25 (木)	岐阜市長に開発商品PR	服飾デザイン科 3年生 3人
4	6/25 (日)	「関ヶ原 武将シリーズ3」にて出店 ・長良川鶺鴒PR商品販売、普及活動	服飾デザイン科 3年生 5人
5	5~11月	長良川鶺鴒PR新アイテムの研究・開発・製造 ・ネクタイのパッケージ研究 ・オリジナルプリントスカーフの仕上げ等 ・鶺鴒PR商品生産	服飾デザイン科 3年生
6	10/1 (日)	「すのまた秀吉出世まつり」にて出店 ・長良川鶺鴒PR商品販売、普及活動	服飾デザイン科 3年生
7	10/26(木)	文化祭バザー ・長良川鶺鴒PR商品販売、普及活動	服飾デザイン科 3年生 15人
8	11/26 (日)	「かわべのじかんマルシェ」出店 ・長良川鶺鴒PR商品販売、普及活動	服飾デザイン科 3年生 7人
9	1/18(木)	卒業研究作品発表会(実施予定) ・3年間の研究内容の発表 ・開発商品のPR展示及び商品販売、普及活動	服飾デザイン科 3年生 36人

(2) オリジナルテキスタイルの企画・提案・製作

- ・ファッションに関する学習を服飾デザイン科で学習した内容をさらに深めるために、東海地区の地場産業である繊維産業が有する技術力、デザイン力の高さを再確認する。また、世界に誇れる技術や日本の文化を理解するとともに、素材についての学習を深める。また、テキスタイル提案の一連の作業において、提案力、表現力を養い、商品化に向けた企画力、マネジメント力、コミュニケーション能力の育成を図る。
- ・岐阜県羽島市にあるテキスタイルマテリアルセンターや、繊維製造工程の見学、テキスタイル開発企業のインターンシップを通して、習得した知識を基に、オリジナルテキスタイルの企画・提案・製作を行う。コンセプトのプレゼンテーションを行い、繊維協会、企業などから改善点のアドバイスを受けるなどのミーティングを重ね、オリジナルテキスタイルを活用したデザイン考案し作品製作をする。

回	月 日	研修内容	参加者
1	7/1 (土)	有限会社カーネレ 足立 聖 氏 との打ち合わせ (オリジナルテキスタイル製作の計画)	服飾デザイン科 3年生 2人
2	10/4 (水)	ワイズテキスタイル 安田 泰宏 氏 との打ち合わせ (卒業研究作品テキスタイルの提案、説明、発注)	服飾デザイン科 3年生 5人
3	11/10 (水)	校外研修 ・マテリアルセンター、葛利毛織株式会社見学	服飾デザイン科 1年生

3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子

(1) ぎふ長良川鶺鴒PRアイテム開発、PR活動



<墨俣さくら会館 テストマーケティング><鶺鴒ミュージアム 副館長から商品に関するアドバイスを受ける>



<本校 文化祭バザー>

<関ヶ原武将シリーズでの販売・PR>



<長良川鶺鴒ミュージアム かわべの時間マルシェでの販売・PR>

4 活動を通しての児童生徒の変容

- ・長良川鶺鴒の装束に受け継がれている心「伝統と機能性を備えた美しさ」というコンセプトを大切に「鶺鴒SHOW」シリーズの商品（ポーチ、バッグ、ネクタイ、ストール）を開発することができた。
- ・地元尾州産地で、織物についての基礎を学習し、独創的でデザイン性の高い織物の数々を見学したことで、テキスタイルデザインに視点をおき、尾州の伝統を理解することができ、誇りに思うようになった。
- ・開発した商品を各種イベント等において、開発意図を説明しながら販売を繰り返し行ったことで、商品に対する思い入れを深め、さらに岐阜の伝統文化や地場産業を理解し、活性化させたいという意欲が高まった。
- ・オリジナルテキスタイル開発において、イラストレーターを駆使し、プリントデザインやジャガード織のテキスタイルを作成した。世界で一つしかないテキスタイルを開発し、1月に実施する卒業研究作品発表会に向けて作成意欲を高めている。